

森合小学校だより



みんなの森合小

「拓の精神」 「和合の心」

NO. 4

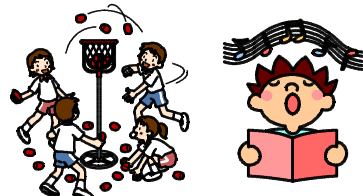
令和7年9月3日

森合小学校長 柏谷智也

飛躍の2学期に

2学期が始まり1週間が過ぎましたが、まだまだ暑い日が続いています。熱中症予防のために「熱中症予防のための暑さ指数」をもとに、外遊びの可否を決定していますが、2学期になって外遊びができたのは1日だけという状況です。子どもにとって1日の中で楽しみにしている時間である業間と昼休みの外遊びができないのはとても残念なようです。

このような気象状況ですが、朝夕の涼しい空気から、少しずつ秋が近づいていることも実感します。2学期は運動会、表現活動日と子どもたちが活躍する場面が控えています。行事においては子どもたちの主体的な活動を引き出しながら取り組んで参りたいと考えております。2学期も様々な場面でご支援いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



スマホ、SNS、LINE・・・大人の管理のもと、適切な活用を・・・

1学期末の個別懇談の際に、スマートホンの活用によるトラブルの相談が散見されました。一昔前は高校生くらいから使用するものと思われていましたが、実際、小学校低学年から使用させているご家庭もあるようです。使用については、それぞれのご家庭でのお考えがあり、一概に使用させるべきではないと言えるものではないと考えます。ただし、小学生の発達段階を考慮し、慎重に判断し、使用する場合には以下の点に配慮する必要があると思います。

- ★ご家庭で、本人と話し合って使用ルールを決めて利用させること。(使用時間、使用場所、就寝前には保護者が預かるなど。ルールを守らない場合は使用を禁止するなど。)
- ★使用に関しては保護者の管理の下に使用させること。特にLINE等は誰と、どのような内容のやりとりをしているのかを保護者が把握する。(LINEでの悪口、仲間外しに関するやりとりがトラブルの一番の原因となっています。また通信ゲームやSNSで知り合い、一度も会ったことのない人とやりとりをしている場合もあるようです。)
- ★スマートホンは自分のものであり自分勝手に使えるという意識を持たせない。保護者が契約しているものを、保護者の管理の下で使用しているという意識をしっかりと認識させる。
- ★保護者の方がスマートホンの正しい使い方のモデルとなるように留意する。(使用時間、通話、LINEなどの言葉遣いや内容など。子どもは大人の言動をよく見ています。)

現代の社会ではICTの活用が当たり前になっており、生活が便利になっている反面、新たなトラブルが発生するのも避けられない事実です。それらを適切に活用するための判断力が大人だけでなく子どもにも求められています。また、トラブルが起きた際、そこから学ばせるということも大切です。学校でも、情報教育においてICT活用について指導して参りますが、ご家庭でも上記の留意点を参考に、改めてご確認いただき、保護者の責任の下適切な活用についてお子様へのご指導、よろしくお願いいたします。

